



長野県立大学
後援会

会報

2025.3
Vol.12



CONTENTS

1 ご挨拶 長野県立大学 後援会会長 網代 隆雄

新理事長です、皆様よろしく。

そして、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう！

公立大学法人長野県立大学 理事長 佐藤慎次郎

社会を変革する若者を輩出する大学 長野県立大学 学 長 金田一真澄

2～5 特集 ～卒業・修了おめでとう！～

＊＊令和6年度 長野県立大学 卒業式＊＊

●卒業生から一言

＊＊令和6年度 長野県立大学大学院 修了式＊＊

●修了生から一言

＊＊学生表彰＊＊

6～7 Campus Topics

＊＊学生活動＊＊

●学園祭

●仲介委員会

＊＊授 業＊＊

発信力ゼミ運営を振り返って

グローバル教養ゼミでスタンプラリーに挑戦

8～9 進路情報

裏表紙 Information

●キャリア支援のための就活情報オンラインセミナー

●学生相談のご案内について

●後援会事務局より

ご挨拶

長野県立大学 後援会会長
網代 隆雄

会員の皆様におかれましては、日頃より長野県立大学後援会にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年も国内外で全く歓迎されない事件事故や紛争が多発しています。そのせいか最近では2015年から世界で提唱されてきたSDGsのニュースはすっかりかき消されてきている昨今ですが、進めている国や企業は今もたくさんあります。そして、この春、将来SDGsの担い手となる学生諸君がこの長野県立大学を卒業します。卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。県大生としての自信と誇りを胸に春からの新生活に心を躍らせてください。前途洋々の将来が待ち受けています。

在学生におかれましては、今しかない大学生活を有意義で充実させていくのは、在学生自身の心ひとつだと確信しています。将来に向けて羽ばたくために「今」という時間を大切に、願わくば「全力で何事にも取り組む姿勢」で臨んでほしいと思います。その手助けをしていくのが私たち後援会の役割であるとあらためて認識しております。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念して、挨拶とさせていただきます。



新理事長です、皆様よろしく。そして、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう！

公立大学法人長野県立大学 理事長
佐藤 慎次郎

昨年10月、安藤前理事長の後任として就任しました。よろしくお願い申し上げます。後援会の皆様には、日頃より厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

就任以来、キャンパスに集う学生たちのひたむきな姿勢に心打たれております。その声を直接聴く機会も増えてきましたが、誰もが明るい未来を感じさせてくれます。本学は開学から約7年が経過しましたが、開学時の理想が着実に実を結び、ユニークな大学に育ちつつあると思います。これは、地域の皆様からの熱い期待を受けて、全学が一丸となって特色ある大学づくりを進めてきた結果でありましょう。私自身、本学の素晴らしい理念・使命に共鳴してこの仕事をお引き受けしました。初心を忘れず、大学の発展のために全力を尽くしたいと思います。

最後になりますが、卒業生のご家族の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんは新型コロナウイルス感染の影響が色濃く残る中で入学を迎え、その後も沢山の不自由を乗り越えて課程の修了にこぎ着けました。この間、後援会の皆様に温かく見守っていただきましたこと、深く感謝いたします。一堂に会して卒業式を迎え、ともに祝うことができる幸せを改めてかみしめたいと思います。



社会を変革する若者を輩出する大学

長野県立大学 学長
金田一 真澄

いつも後援会には、本学に対し温かなご支援をいただき、深く感謝いたします。

昨年10月に、佐藤慎次郎氏が新たに新理事長に就任し、安藤國威理事長が顧問となる大きなトップ交代がありました。こちらもそれに合わせ、教育研究の更なる改善や幅広い地域貢献に全力で努めているところです。

世界の政治・経済の動きも目まぐるしく、生成AIの進化がどこまで人間の能力に迫れるのか、まったく先の見えないまさにVUCAの状況にあります。

これからの大学は、そうした急速に進化していく社会の現状を無視して小さく生きる能力ではなく、社会をより良く変革し、発展させていく能力を持った卒業生を輩出していくことが求められています。

そのために、本学では1年次は寮での共同生活の中で自律や主体性を鍛え、2・3年次の海外プログラムでは、現地の様々な職種の人たちと英語でコミュニケーションを交わす経験を通して、広い視野と自己肯定感を養い、社会の期待に応えていきます。

会長の網代隆雄さまをはじめ、後援会のみなさまには一層のご支援を、どうかよろしくお願い申し上げます。



特集 ～卒業・修了おめでとう！～

＊ ＊令和6年度 長野県立大学 卒業式＊ ＊

令和7年3月14日（金）に、令和6年度長野県立大学卒業式を挙行了たしました。

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科163名、健康発達学部食健康学科30名、健康発達学部こども学科42名の卒業生に、金田一真澄学長より卒業証書が授与されました。



●卒業生から一言

長野県立大学での4年間を振り返って

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科 西澤 歩乃花

私たちの大学生活は、コロナ禍に始まりました。入学してからしばらくは、ほとんどの授業がオンラインで行われ、正直、思っていた大学生活とは違うと感じたことを覚えています。しかしそこから徐々にコロナウイルスも収束し、少しずつ大学生らしい学生生活を送れるようになりました。

その中でも特に印象的なのは、やはり海外研修です。私たちの学年から現地への渡航ができるようになり、私はフィリピンに約1ヵ月、滞在しました。渡航前は不安もあったものの、この1か月間は私にとって貴重な経験ばかりでした。ビジネスに関する学びはもちろんのこと、日本では見られない発展途上国の現状を目の当たりにし、そこから学べることも沢山ありました。また、毎日の生活や現地人との交流も新鮮なことばかりで、全てが印象に残っています。

この海外研修はもちろんのこと、普段の授業やゼミナール活動も含め、長野県立大学だからこそ学べたこと、経験できたことは多くあると感じています。これからは、これらの学び、経験を活かして仕事に励み、多くの方の役に立てる社会人になりたいです。

大学生活を振り返って

健康発達学部食健康学科 谷口 千夏

4年間の大学生活を振り返ると本当に多くの方に支えていただいたと思います。

コロナ禍だった入学時はリモートの授業が多く、不安でいっぱいでしたが、先生方のおかげで対面での授業や調理実習が再開されました。そのおかげで同じ学科のみんなと仲を深めることができました。

ニュージーランドでの海外研修や臨地実習、卒業論文など1人では心細く難しいこともみんなと乗り越えることができました。

同じ職業を目指している食健康学科のみんなと勉強したり、大学生活を共にできたのはとても貴重な思い出です。朝から夜まで大学で試験勉強をしたこと、相談しながら難しいレポートに取り組んだことも大変でしたが楽しかった思い出の1つです。

この4年間で専門的な知識だけではなく多くのことを学び、成長することができました。この学びを生かし、支えてくださった多くの方への感謝を忘れず、頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

四年間を振り返って

健康発達学部こども学科 渡邊 愛花

私は、祖母が保育士だったこともあり幼い頃から「保育園の先生になる！」と意気込んで保育の道を進んできました。高校時代は勉強に興味を持てず、とりあえず大学受験をするために勉強をしてきました。将来の夢を考える時は「ずっと保育園の先生になりたいって言い続けてきたしなあ。」といった具合で、なんとなく進路を決めてきました。しかし、大学に入って児童養護に関する講義を受け、その講義内容に興味を持ちました。「学ぶことが楽しい、もっと知りたい」と初めて思えた自分に驚きました。ゼミを決める際には、興味のある分野を専門とする先生のゼミに入り、就職先も保育園とは少し違う乳児院という場所に決めました。地元の新潟を離れ、長野県立大学で素敵な友達や先生に出会えたこと、そして進路を自分で決断できたことを嬉しく思います。

＊ ＊令和6年度 長野県立大学大学院 修了式＊ ＊

令和7年3月14日（金）に長野県立大学大学院修了式が挙行政され、ご家族、友人が見守る中、ソーシャル・イノベーション研究科11名、健康栄養科学研究科1名の学生に、金田一真澄学長より修了証書が授与されました。今後、それぞれのフィールドでご活躍されることを祈念いたします。

●修了生から一言

ソーシャル・イノベーション研究科 古畑 直樹

社会人としての大学院生活は、大変なことも多かったですが、それ以上に学びや挑戦に満ちた充実した時間でした。特に思い出深いのは、大学院生発で企画したイベント「ゆにフェス！」です。仲間とともにゼロから形にし、多くの方に楽しんでもらえたことは、大きな達成感につながりました。大学の皆様の理解と協力があつたからこそ実現できたことに、改めて感謝しています。

「想いを形にできる」環境がある大学に入学できたことは幸運でした。なにより厳しくも温かい教員の皆さまや個性的な同級生との出会いは、これからの人生の大きな転換点にもなりました。この風土がこれからも続き、多くの人が新たな挑戦をできる場であつてほしいと願っています。支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました！

健康栄養科学研究科 高橋 和子

栄養教諭として「さらに学びたい」と願い、一大決心をして大学院に入学した私が、この日を迎えられることに大きな安堵と少しの誇りを感じています。

院生としての研究活動は、児童生徒に対する食育を実践する中で感じていた課題を振り返り、ステークホルダーについて考えることから始めました。食や栄養を俯瞰的に考え、社会的な施策を検討する多角的な学びから得られる知識にわくわくしました。社会に貢献できるテーマを検討する過程で迷い、研究計画までに時間がかかりました。データを考察し、追求する過程に苦戦しましたが、食育の推進や後進の栄養教諭の背中を押すための一助になると願つて取組みました。

大学院での学びに際し、ご指導いただいた先生方やともに学んだ仲間がこの場を借りて御礼申し上げます。皆さんに助けていただき、楽しく充実した3年間を過ごすことができました。「いくつになっても人は学ぶことができる」ことを体現できたかけがえのない日々に感謝をして、社会に還元できるように歩んでいきたいと思っています。

学生表彰

学長賞

在学期間を通じ、学業成績が最も優秀であった者

グローバルマネジメント学部
グローバルマネジメント学科

21G001 會田 拓馬

21G115 西澤 歩乃花

健康発達学部食健康学科

21F008 金田 真希

健康発達学部こども学科

21C015 高木 涼音

大学院 ソーシャル・イノベーション研究科

23S008 中嶋 信之

大学院 健康栄養科学研究科

22H003 高橋 和子

理事長賞

4年間を通じ、特に優れた活動により本学の名誉を高めた者

グローバルマネジメント学部
グローバルマネジメント学科

21G159 矢野 叶羽

健康発達学部食健康学科

小木曾ゼミ

21F014 高木 陽花

21F020 原川 結華

21F018 神田 勢那

21F023 宮原 未稀

健康発達学部こども学科

21C007 金子 詩奈



＊ ＊学 生 活 動＊ ＊

●学園祭

想いをカタチに

FUN2024実行委員長を務めました、大古田愛美と申します。
今年度は、「unite」というスローガンを掲げ、感情が共鳴して心が団結する瞬間、一体感を感じて心が躍る瞬間などで溢れる学園祭創りに励みました。当日は学園祭を通じて、来場者の方々が笑い合ったり、エネルギーが1つになったりする景色を見ることができ、スローガンをカタチにできた学園祭だったと思っています。私自身3年目となる実行委員活動でした。「基盤を固めてきた学園祭の歴史を繋げるとともに、反省点を活かす学園祭にする」と意志を強く固め、良い点は継承し、反省点はどのように改善するのかを考えていきました。細かい部分までの装飾、動線を考えたステージ・飲食エリアの設置などを行い、「パワーアップした学園祭だった」という声をいただき、嬉しく思っています。来場者の皆様、関係者の皆様、学園祭に携わってくださった全ての皆様に感謝しています。ありがとうございました。

学園祭実行委員長 大古田 愛美



●仲介委員会

「仲介委員会」のこれまでとこれから

仲介委員会とは、長野県立大学から公認を受ける3大組織の1つで、他2組織の担当する学園祭・サークル以外のあらゆる問題に対処する包括的な団体です。私たちは「学内のもったいないを解決する」をモットーに大学の豊か化に努めています。

2024年度は初の後輩が加わり、立ち上げメンバーの熱意や想いの継承と、よりよい大学について試行錯誤を繰り返した年となります。具体的には「クラスやユニット、ゼミなどの特定のコミュニティで活動し、他のかかわりを持ちづらい学生たちに、新しい出会いの機会を提供する」というコンセプトで「居肴屋ゆえん」という交流イベントを、「アイデアに伴走し、妄想を実現する」をコンセプトに「妄想市」というマルシェイベントを開催しました。

大学内に関わるすべての人にとって、より豊かな環境づくりを楽しく目指していきますので、暖かく見守ってください。

仲介委員会 山本 勇気



＊ ＊授 業 ＊ ＊

発信力ゼミ運営を振り返って

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科教授 馬場 智一

「発信力ゼミⅠ・Ⅱ」は一年生全学必修、全学科横断でクラスを編成するゼミです。開学時は通年科目でしたが、現在では、「Ⅰ」（１・２学期）ではアカデミックスキルズの学習を、「Ⅱ」（３・４学期）ではそれを復習しつつゼミごとの特色ある活動を行う科目になりました。'19年度から、「Ⅱ」では希望に応じたゼミ編成を行なっています。

私が運営を担当した'22年度までは、運営WGや、授業終了後の有志教員の集まりで議論し、様々な改善を行いました。授業資料、運営資料、日々の気づきなど担当者間で共有し、引き継ぎの資料にもするため、年度を跨いで教員用のメッセージアプリを活用しました。こうした改善のプロセス・結果・今後の課題を、2024年度受審した第三者評価（認証評価）で報告しました。名残惜しいですが、私は次年度から他大へ異動します。今まで運営に協力して頂いた先生方に心より感謝申し上げます。本学の益々の発展を祈念いたします。



アーティストを招いた哲学ランドアート

グローバル教養ゼミでスタンプラリーに挑戦

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科教授 谷口 真由実

今年度のグローバル教養ゼミでは、須坂市の蔵の町並みキャンパス事業に参加し、「蔵の町巡りー秋の紅葉スタンプラリー」のイベントを実施した。学生たち（４年加藤はるかさん、３年千野祐里奈さん、藤原唯華さん）は６・７月に須坂クラシック美術館、旧小田切家住宅、蔵のまち観光交流センター「くらっと」、笠鉦会館ドリームホール、ふれあい館まゆぐら、豪商の館田中本家博物館を見学し、蔵の町並みや建物の魅力を知った。多くの方々に蔵の町並みを楽しんでもらえるようスタンプラリーを企画することとし、まちづくり課や上記６館の方々に助言を頂きながら、実施日を10月26日（土）と決め、準備を進めた。10月初めにはチラシを作成・配布し、関係先HPにも掲載して当日を迎えた。参加者の方々（15名）からは、歴史を感じながら蔵の町巡りを楽しんだ等の声を頂いた。学生たちにとってはイベントの実施を通じて、運営の難しさや楽しさを学ぶ絶好の機会となった。



イベント受付風景

進路情報

● 4期生による就職アドバイザー活動報告会

キャリアセンター長 大南 匠

2025年1月27日に4期生就職アドバイザーの活動報告会が開催されました。就職アドバイザーは、就職活動を終えた4年生が自らの体験やアドバイスを後輩に共有する取り組みです。本年度は12名の学生がこの役割を担い、内定者報告会や就職活動体験を記した冊子の作成、個別相談など多岐にわたる活動を行いました。

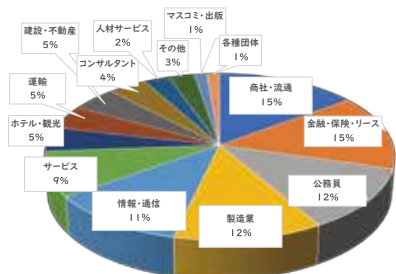
当日は、理事長、学長をはじめとする多くの教職員が見守る中、各自のアドバイザーとしての活動について丁寧にプレゼンテーションを行い、その熱意と努力が伝わる素晴らしい報告会となりました。また、活動を通じて「後輩のために力になればと取り組んできたが、振り返ると自らのキャリアを考える良い機会となった」と感謝の言葉を述べる学生たちの姿が印象的でした。

キャリアセンターでは、今後も学生の未来を支えるキャリア支援に尽力してまいります。今回の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

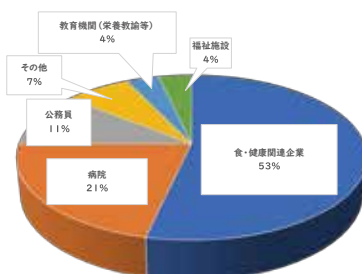


● 4期生の進路状況 (主な就職先・進学先※敬称略) 2025年3月時点のデータです。最終決定版ではありませんのでご了承ください。

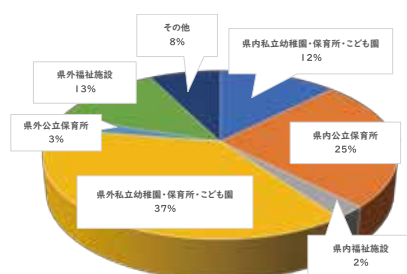
グローバルマネジメント学科



食健康学科



こども学科



日本放送協会/キヤノンマーケティングジャパン/TOPPANエッジ/スズキ/良品計画/三菱食品/サンクゼール/セイコーエプソン/オリオン機械/ミマキエンジニアリング/エムケー精工/日精樹脂工業/日本政策金融公庫/静岡銀行/八十二銀行/東京海上日動火災保険/みずほ証券/日本年金機構/日本電気航空宇宙システム/北野建設/羽田旅客サービス/中部国際空港旅客サービス/長野県/長野市/京都大学大学院/名古屋大学大学院/長野県立大学大学院

【医療】信州大学医学部付属病院/独立行政法人国立病院機構 関東信越グループ/伊那中央行政組合伊那中央病院
【福祉】敬老園
【公務員(管理栄養士)】長野県/茅野市
【教育機関(栄養教諭)】長野県
【食・健康関連企業】ローソン/アスザックフーズ/長野サンヨーフーズ
【給食受託】グリーンハウス
【進学】信州大学大学院/東洋大学大学院
【その他】伊津市(行政職)/全国農業共済組合連合会

【県内公立保育所】長野市/上田市
【県内私立幼稚園・保育所・こども園】秋葉保育園/長野大橋保育園
【県外公立保育所】鯖江市(福井県)
【県外私立幼稚園・保育所・こども園】風の遊育舎(秋田県)/PAL International school @東京外大(東京都)/大山西町保育園(東京都)
【県内福祉施設】児童養護施設松本児童園
【県外福祉施設】二葉保育園二葉乳児院(東京都)/中央有鄰学院(愛知県)
【進学】上越教育大学大学院
【その他】長野県(行政)/塩尻市(行政職)

●内定者インタビュー



グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科 4年

志水 太樹 さん 内定先：三菱食品株式会社

日本各地の食の生産者と消費者を繋ぐ重要な役割を担えることに魅力を感じ、この企業（業界）を志望しました。新社会人として、まずは基本業務を確実に遂行し社内外を問わず信頼される人物を目指します。また、人とのご縁を大切に多様な方面にアンテナをたて、積極的に成長の機会を掴みたいです。将来的には商品開発や技術開発により新たな価値を生み出せる人材へと成長したいと考えています。



健康発達学部食健康学科 4年

谷口 真唯 さん 内定先：一正蒲鉾株式会社

食を通してより多くの方に笑顔届けたい、という大学入学時からの目標を叶えるため、食品企業への就職を決めました。笑顔届けるために、まずは自分自身が仕事を楽しみながら笑顔でいること、そして仲間とのコミュニケーションを重視し、他職種と協力しながら商品を作り上げていくことを意識していきます。また、その商品を通して笑顔届けることで、お客様と良好な関係を築いていきたいです。



健康発達学部こども学科 4年

田中 千智 さん 内定先：キッズラボ株式会社 キッズラボボールパークこども園

社会人になるにあたって、私は人との繋がりを特に大切にしたいです。子ども一人ひとりとしっかり向き合い、信頼関係を築きながら成長を見守ることはもちろん、保護者の方とのコミュニケーションも密にし、共に子どもの成長をサポートしていけるような関係性を築きたいです。また、職場の仲間との協力の中で他者ならではの視点を学ぶことも意識したいです。人との繋がりを通じて、自分自身も成長できる生活を送れたらと思います。

●卒業生インタビュー

長野市 観光文化部 観光振興課 小布施 佳穂 様

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科 2024年3月卒業

私は、現在公務員として観光の業務に携わっております。業務内容は、市内観光地やイベントの情報発信、また観光客の滞在時間延長を目標とした新たなコンテンツの開発等多岐にわたります。私の業務の魅力は、新たな企画を上司や関係者をはじめ様々な方と連携して生み出せる点だと思います。観光の業務において正解はなく、現状分析を行いながら課題解決に向けて様々な観点から解決策を提案します。私は全く知識がないため、先輩方に日々教えていただきながら学ばせていただいています。

大学時代は様々な場所へ足を運び、経験したことのない体験や見たことのないものに触れる機会を積極的に作り出すことが非常に重要であると思います。私は、毎年長期休みに友人と国内外へ旅行に行ったり、その旅行代を捻出するために泊まり込みバイトをしたりしていました。特に、様々な業種のアルバイトを経験することは社会の仕組みを学ぶことができ、良い経験だったと思います。

私は、就職活動の際にキャリアセンターの方々大変お世話になりました。提出書類の添削や面接対策等親身に相談に乗っていただきました。長野県立大学で得た学びを今後の人生にも活かしていきたいです。



Information

●キャリア支援のための就活情報オンラインセミナー

令和6年10月26日（土）に後援会会員向けの「就活情報オンラインセミナー」を開催しました。

株式会社リクナビの高橋様にご講演いただくとともに、グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科4年の西澤歩乃花さんには、就職活動の様子をお話いただきました。

ご参加いただいた人数は、多くはありませんでしたが、後援会として初めて、会員の皆さまに向けたセミナーを開催することができました。今後もこうした事業を継続してまいりたいと思います。



●学生相談のご案内について

大学生の時期は、修学、広がりを見せる人間関係、一人暮らしの生活、就職活動といった多くの壁に向き合い悩み、ときには疲弊し、不安を強く感じるときもあるかと思います。見守り、励まし、勇気づけるといふ、保護者の皆様の情緒的な支えが大きな支えとなります。

学生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう学生相談では、公認心理師・臨床心理士、保健師が学業、対人関係、心身の健康の悩み等、大学生活の中でのさまざまな問題・悩み・心配事に対してサポートを行っています。悩みを抱えている学生が自ら相談に来ることもありますが、困難を抱えているからこそ、援助を求める行動をとりにくいこともあります。学生ご本人の様子が心配なときには、保護者の皆様からのご相談にも対応していますので、お気軽にご相談ください。

★学生サポートセンター（学生相談・カウンセラー）：TEL 026-217-5082

★学生サポートセンター（健康管理室・保健師）：TEL 026-234-1223



学生相談・健康管理室
ホームページ

●後援会事務局より

学費あるいは授業について等、ご不明な点、ご相談など下記までお問い合わせください。また、後援会事業に関するご質問等も下記までお知らせください。

★授業に関すること

学生サポートセンター教務第一係 kyomu@u-nagano.ac.jp

★学生生活・学費等に関すること

学生サポートセンター学生支援係 gakusei@u-nagano.ac.jp

★後援会に関すること

学生サポートセンター学生支援係 gakusei@u-nagano.ac.jp

長野県立大学後援会

〒380-8525 長野県長野市三輪 4丁目49番地 7号

電話：026-217-5082 FAX：026-235-0026

<https://www.u-nagano.ac.jp/for-family/supporters/>

後援会ホームページのご案内

後援会の主な事業や会報のバックナンバーをご覧いただけます。

長野県立大学後援会

検索

